

一般質問

※ J F E … J F E エンジニアリング株式会社



豪雨災害の教訓等を後世に伝えるため、7月6日を「大牟田市防災の日」に

問 7月6日を「大牟田市防災の日」としてはどうか。

答 今回の被害や経験を後世に教訓として伝承し、災害へ

の認識を持つ契機にしたい。
また、日頃から災害に備える
大切さも啓発していきたい。

R D F 発電事業の J F E への事業承継と 新たなごみ処理施設整備

問 R D F 発電事業の事業承継の経緯と提案内容は。

答 10月に*J F E から事業承継が提案され、事業終了後の施設撤去など処理委託料以外費用負担は求めないとのこと。

問 新たなごみ処理施設整備についての考えは。

答 既存施設を令和 9 年度以

降まで利用した後、新たなごみ処理施設を令和 10 年 4 月の供用開始を目指し整備する。

再発言 県と協議し、地域の納得を得た上で推進されたい。

コロナ禍の文化芸術への影響とその支援

問 コロナ禍の文化芸術への影響とその支援について聞く。

答 多くの団体がイベント中止等を判断されている。本市は、ピアノ・カラオケ教室等の個人事業者に、安全対策にかかる費用を支援している。



人生100年時代のケアラー (家族など無償の介護者)支援

問 高齢化と核家族化が進む中、老老介護・認認介護や老障介護の問題、高齢者や障がいのある方など複数人を同時

に介護する多重介護、晩婚化や出産年齢の上昇などに伴って介護と育児を同時期に担っているダブルケアラー、18歳未満の子ども・若者たちが就労経験もなく学生時代から介護を担わざるを得ないヤングケアラー、在宅でのターミナルケア(終末期の医療・看護)・看取り、年間約10万人が介護・看護を理由として離職している介護離職問題などケアラーの状況は多様化しており、介護力不足や介護疲れなどの多くの問題を抱えている。

介護サービスの基盤整備は進んでいるが、ケアラーの負担は軽減されていない現状から、要介護者の支援体制の整備とともに、様々な負担を抱えているケアラーに対し、介護保険事業計画を含む次期健康福祉総合計画で、どのような支援策を示すのか。

答 来年度以降は、現在策定中の大牟田市健康福祉総合計画において、誰もが安心して健やかに暮らしていけることを目指した施策の中で、ケアラーの支援にも取り組む。



歴木中学校周辺の 7月豪雨災害と対策

問 7月豪雨災害における歴木排水区の浸水被害は、床上が70棟、床下が42棟であった。三池校区内では一番の被害地

域だった。今後の対策について、行政はどう対応するのか。

答 歴木中学校周辺の水路の流れ先となっている堂面川について、しゅんせつなどの対策を早急に実施するよう県へ要望し、協議を進めている。

再発言 住民の命と財産を守るのは行政の責務と思う。

水害状況の把握と市長の視察を要望する。

三川坑炭塵爆発慰霊碑 に対する本市の関わり方

問 三川坑炭塵爆発慰霊碑の

除幕式が、事故発生日の11月9日に行われた。多くの方々が参加され、大牟田、荒尾両市長の丁重なる御挨拶もいただいた。参加された市長の感想を聞きたい。

答 三川坑が郷土の歴史であり、力強く生き抜いた人々と、支えた御家族の力が礎となっている。炭塵爆発の犠牲になられた方々の鎮魂と労働災害のない社会を実現する慰霊碑となるよう祈念し、発展と苦難の歴史を末永く後世に語り継いでいく想いを新たにしたい。